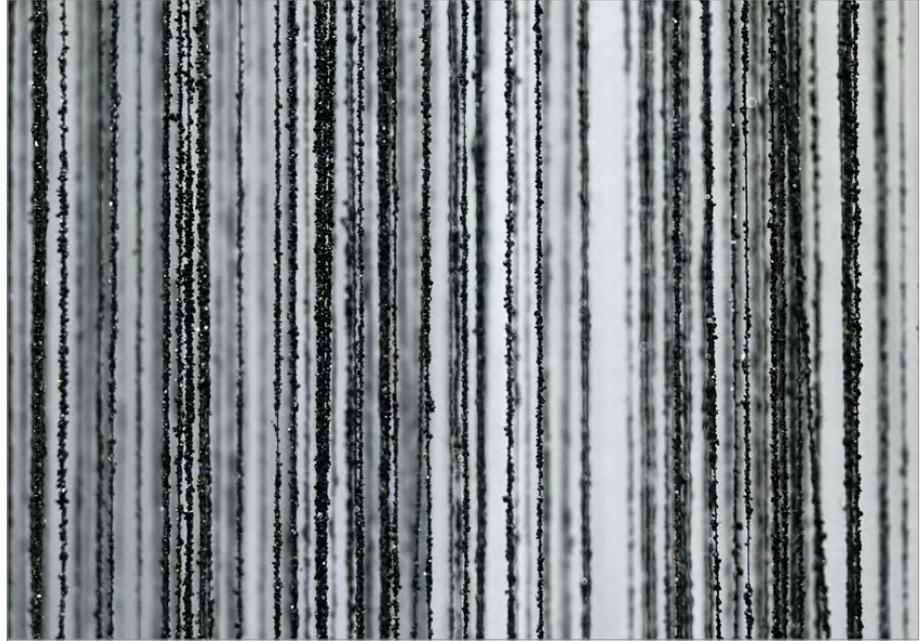


No. 20250754

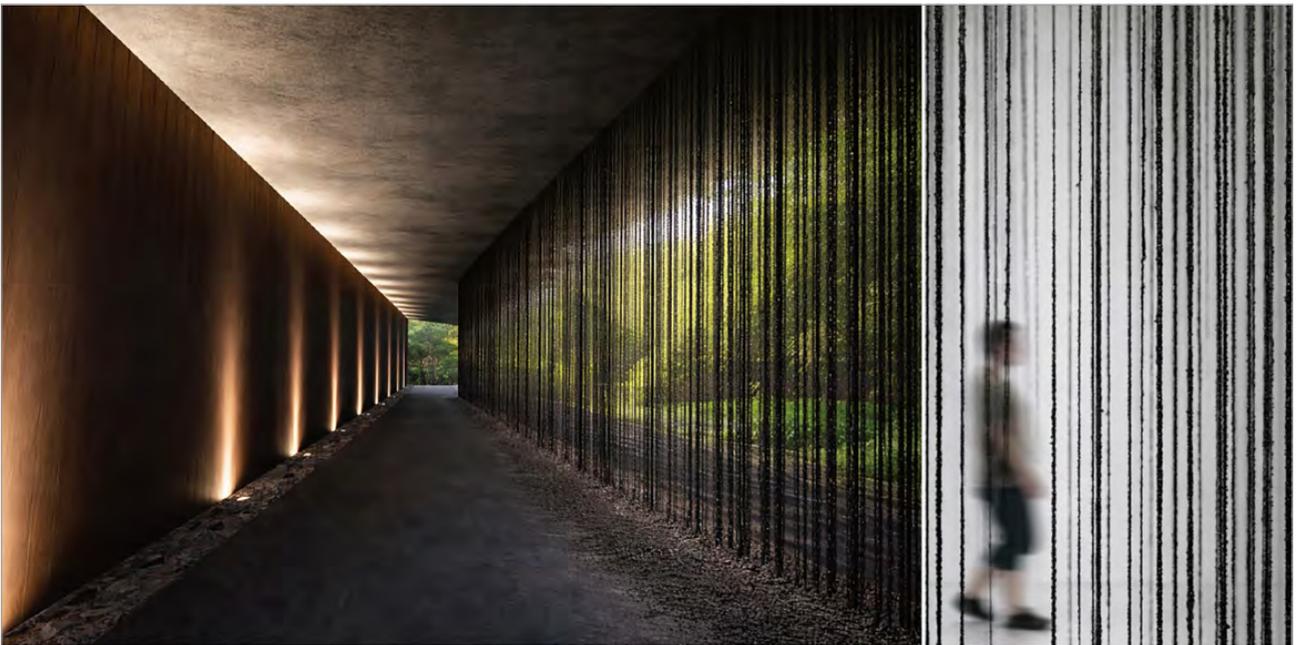
ブラック サンド はっ ぽ う  
Black sand HAPPO



たけしま なお  
竹嶋 菜央



デザイン画



空間イメージ図

### 素材

中浜海岸の砂浜(カラミ)、糸

### 想定する空間

町の新たなブランドとして道の駅、八峰町付近の旅館など

### デザインコンセプト

秋田県八峰町に位置する黒い砂浜「ブラックサンドビーチ」は、かつて発盛鉱業所で銀を精錬する過程で排出された岩石「カラミ」が海へ流れ込み、波によって細かく砕かれ、長い年月をかけて打ち上げられたことで生まれた砂浜である。この黒い砂は、産業廃棄物でありながら、自然の力によって新たな美しさを獲得したマテリアルとも言える。

私は、この場所を人間の営為と自然が偶然に結び合い、予期せぬ形で生まれた素材の可能性として見つめ直したいと考えた。そして、この素材を二次成形することで、単なる景観では終わらせず、人と場所が再び関係を結ぶ「第二の物語」を立ち上げることを目指した。

制作では、糸にボンドで砂を纏わせたものを壁面として制作した。時間の経過とともに砂は少しずつ落ち、床に広がっていく。その変化もまた、この素材がもつ時間性を示している。